

## 夕張市財政再生計画の変更 (平成23年3月)の概要

- 昨年12月21日に夕張市の財政再生計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情や決算見込みを踏まえ、財政再生計画に計上した平成22年度から平成38年度までの各年度分の歳入歳出年次総合計画等を変更するもの。
- 変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保や歳出の抑制により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針並びに財政の再生に必要な計画及び歳入又は歳出の増減額については変更はない。
- 財政再生計画の変更への同意は、今回で4回目である。

### I 財政再生計画の歳入・歳出額の変更における主な内容

#### 平成22年度

##### 1 歳入・歳出の見直し

###### (1) 歳入

地方交付税(再生振替特例債の利子確定等に伴う特別交付税措置額の減)(▲118百万円)、国・道支出金(+113百万円)、繰入金(+5百万円)、その他(+57百万円)などにより56百万円の増

###### (2) 歳出

人件費(12月変更後の退職見込み者数の変動に伴う増)(+16百万円)、物件費(+6百万円)、維持補修費(+43百万円)、建設事業費(+62百万円)、公債費(▲129百万円)、その他(+58百万円)などにより56百万円の増

##### 2 主な変更事項

###### (1) 地域活性化きめ細かな交付金事業(63百万円)

国の平成22年度補正予算において措置された交付金を活用し、地域の活性化ニーズに応じた事業を行うもの。

①市営住宅ガス供給設備の更新(42百万円)

②道路維持管理用車両の更新(7百万円)

③その他(14百万円)

(財源) 国支出金55百万円、一般財源8百万円

## (2) 地域活性化住民生活に光をそそぐ交付金事業(23百万円)

国の平成22年度補正予算において措置された交付金を活用し、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野の事業を行うもの。

①石炭博物館の改修事業(実施設計費)(8百万円)

②光をそそぐ基金への積立(15百万円)

(財源) 国支出金23百万円

## (3) 老人福祉会館共生型整備事業(30百万円)

現在、市内2カ所の小学校の空き教室で行っている学童クラブについて、小学校の統合と少人数学級実施が重なったことにより空き教室が不足することから、市内の老人福祉会館の増築工事を行い、学童クラブの運営施設を確保するもの。

(財源) 道支出金 30百万円

※ 変更に必要な財源については、国・道支出金や、地デジ対応に係る民間放送事業者負担分の増加に伴って生じた一般財源などにより対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。

## 平成23年度

### 1 歳入・歳出の見直し

#### (1) 歳入

地方税(+7百万円)、地方譲与税(+7百万円)、地方交付税(臨時財政対策債への振替え及び再生振替特例債の利子確定等に伴う特別交付税措置額の減)(▲420百万円)、国・道支出金(+83百万円)、繰入金(+61百万円)、地方債(+424百万円)、その他(+125百万円)などにより286百万円の増

#### (2) 歳出

人件費(+29百万円)、物件費(+52百万円)、維持補修費(▲12百万円)、扶助費(+81百万円)、建設事業費(+251百万円)、公債費(▲108百万円)、繰出金(▲25百万円)、その他(+18百万円)などにより286百万円の増

### 2 主な変更事項

#### (1) 石炭博物館改修事業(107百万円)

炭都の歴史を伝える重要な文化施設としての活用を図るため、老朽化の著しい石炭博物館を改修するもの。

(財源) 道支出金5百万円、その他102百万円

## (2) ごみ埋立施設汚水処理設備更新事業 (42百万円)

ごみ埋立施設に設置されている老朽化した汚水処理設備(回転円板)を更新するもの。

(財源) その他36百万円、一般財源6百万円

## (3) 道営住宅取得事業 (23百万円)

市営住宅の移転集約の受け皿とするため、良質で浴室の設置されている市内の既存道営住宅の一部について、市が道から有償譲渡を受けるもの。財源については、道の支援策である新たな道営住宅の建設予定地(市有地)売却収入(33百万円)により対応。

(財源) 一般財源23百万円

※ 変更に必要な財源については、国・道支出金や、過疎対策事業債(ソフト分)などにより対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。

## 平成24年度～平成38年度

### 1 歳入・歳出の見直し

#### (1) 歳入

地方交付税(▲881百万円)、国・道支出金(+16百万円)、繰入金(▲24百万円)により889百万円の減

#### (2) 歳出

公債費(▲849百万円)、その他(▲40百万円)により889百万円の減

### 2 変更事項

#### 再生振替特例債の利子確定等に伴う変更(▲889百万円)

財政再生計画策定後の平成22年3月25日に借入を行った再生振替特例債(32,199百万円)に係る元金及び利子の償還について、実借入条件に応じた償還額に修正するとともに、当該利子に対する特別交付税額や道の夕張市財政再生支援対策費補助金、減債基金からの繰入金、同基金への積立金についても修正を行うもの。